2インチリフトアップキット フロントアームセット 取扱説明書

このたびは、シーエルリンク製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
製品を正しく安全にご使用いただくために、あらかじめ本書をよくお読みのうえ、内容をご理解ください。

構成部品

番号	名　称	略　図	数　量
①	2インチリフトアップコイルスプリング		1台分
②	KYB製ロングショックアブソーバー		1台分
③	ロングブレーキホース		1台分
④	調整式ラテラルロッド	※画像はブルーラテラルロッド	1台分
⑤	フロント強化リーディングアーム		2本

番号	名　称	略　図	数　量
⑥	ウレタンキャスター補正ブッシュ		2個
⑦	20mmスタビ延長ブロック		1台分
⑧	エアロッキングハブ延長ホース		2本
⑨	ABS延長カラー		1個
⑩	スパイラルチューブ		2本

適合型式

SUZUKI ジムニーノマド JC74 1～2型

⚠ 取り付け前の注意事項

●作業は車両のサービスマニュアルに従い、締め付けトルク等に注意しておこなってください。
●サスペンション交換作業は専門的な知識が必要になります。プロショップまたは認証工場にて作業をおこなってください。
●取り付け後走行前に必ずステアリングの中立調整をおこなってください。大きくズレた状態での走行はチェックランプ点灯の原因となります。
●リフトアップキット装着後、センサー環境が純正状態から変化することによるスズキ セーフティ サポートの誤作動、未作動、エラー等の不具合に関しましては当社は責任を負いかねます。製品装着後はセンサーのエーミング調整作業を実施することをおすすめいたします。
●取り付け後はヘッドライト光軸調整をおこなってください。
●ブレーキホースの取り付け等に整備不良があった場合、ブレーキが効かず追突や転倒等が発生し大怪我や死亡事故につながる危険性があります。取り付けは必ず設備の整った認証工場の熟練した整備士に依頼し確実におこなってください。
●取り付け後は定期的に各箇所の増し締め作業をおこなってください。

⚠取り付け上の注意事項

●取り付け要領では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたい事項を次のマークで指示しています。

⚠注意 ・・・守らないと事故やケガ、車両を損傷するおそれがある事項を記載しています。

POINT ・・・作業をスムーズに進めるために、事前に知っておいていただきたい事項を記載しています。

●作業前に別冊の「製品取扱い注意事項」をよくお読みください。

●車両部品の取り外しに際して、クリップやボルトなどの紛失や混乱がないように部品ごとに整理して、復元時に誤りのないよう十分注意してください。

●作業時には必ず傷防止の処置を講じ、車両や部品に傷を付けないよう十分注意して作業を行ってください。

各部品の取り付け要領と注意事項

以下、それぞれの部品について記載されている順番(A、B、…)は、必ずしもサスペンションキット取り付け時の手順とは一致しません。サスペンション交換手順の詳細については、車両のサービスマニュアル(スズキ株式会社発行)をご参照ください。

A ブレーキホースの交換作業

POINT 全ての作業はブレーキフルードが車体や衣服に付着しないようにウエスなどで保護しながらおこなってください。万が一付着した場合は水道水で洗い流すか、脱脂洗浄剤を使用して確実に油分を取り除いてください。

❶マスターシリンダーとブレーキホースからフルードを抜いてください。

❷純正のブレーキホースを取り外します。

❸純正の取り回しと同じようにロングブレーキホースを取り付けます。
このときブレーキホースがねじれないように注意してください。

⚠注意 車両のサービスマニュアルに従い、規定トルクで取り付けをおこなってください。規定トルク以上で締め付けた場合、フルード漏れの原因になります。

❹エア抜き作業をおこなってください。

⚠注意 車両のサービスマニュアルに従い、確実にエア抜き作業をおこなってください。

❺フルード漏れが発生していないか、車両が地面に接地した(1G)状態でブレーキホースが各部に接触していないか、または無理な取り回しになっていないかを確認してください。

❻各部の取り付けに異常がなく、ブレーキシステムが正常に作動することを確認してください。

B コイルスプリングの交換作業

❶純正コイルスプリングを取り外します。

❷2インチリフトアップコイルスプリングを取り付けます。純正コイルスプリングサイレンサーは再利用してご装着ください。

⚠注意 コイルスプリングの取り付け位置は、刻印の表記を確認してください。
FL(フロント助手席側用)、FR(フロント運転席側用)、RL(リア助手席側用)、RR(リア運転席側用)
コイルスプリングの上下については、刻印が正しく読める向きで取り付けてください。

C ショックアブソーバーの交換作業

❶純正ショックアブソーバーを取り外します。

❷KYB製ロングショックアブソーバーを取り付けます。

D ラテラルロッドの交換作業

a 調整式ブルーラテラルロッドの場合

❶車両をリフトで上げ、ミッションジャッキ等でホーシングを支えた状態で純正ラテラルロッドを取り外してください。

❷純正ボルトを再利用して調整式ブルーラテラルロッドを仮付けします。

POINT **取り付け前にラテラルロッドブッシュを取り外して、シリコン系グリースにてグリスアップ処理をおこなってください。(ブッシュを取り外す際は、カラーにカラーの外径より一回り細い棒などをあてがい、叩くか押し出すようにしてカラーを抜いてください。カラーを先に抜き取ることで、ブッシュが外しやすくなります。)**
画像を参考にブッシュ本体、カラーのすべての面(ボルト貫通面を除く)にグリスをしっかりと塗布してください。
グリスアップ処理を怠った場合、ブッシュの早期破損等トラブルの原因になります。

ラテラルロッドブッシュのグリスアップ処理

POINT **フロント、リア共にターンバックル部分がホーシング側に近くなるように装着してください。**

❸車両が地面に接地した(1G)状態で長さを調整後に、ターンバックル部分のナット及び取付ボルトを本締めします。

ターンバックル本締め後の完成イメージ

b 調整式ステンレスラテラルロッドの場合

❶車両をリフトで上げ、ミッションジャッキ等でホーシングを支えた状態で純正ラテラルロッドを取り外してください。

❷純正ボルトを再利用して調整式ステンレスラテラルロッドを仮付けします。

POINT **ラテラルロッド本体には左右の設定はありません。**

❸車両が地面に接地した(1G)状態で長さを調整後に、ナット及び取付ボルトを本締めします。

E リーディングアームの交換作業

❶純正フロントリーディングアームを取り外し、フロント強化リーディングアームへ交換します。

⚠注意 **アームを固定するボルトナットの本締めは、必ず車両が地面に接地(1G)した状態にておこなってください。**
車両がリフトにて浮いた(0G)状態で本締めをおこなった場合、ブッシュの早期劣化等のトラブルを引き起こす可能性があります。

F アームブッシュの交換作業

❶純正リアトレーリングアームを車体から取り外し、純正ブッシュを抜き取ります。

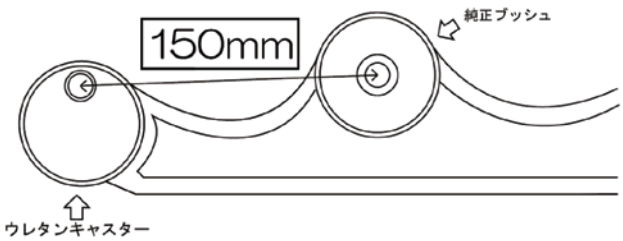
POINT **ホーシング後ろ側の純正ブッシュを交換します。**

❷図を参考に穴と穴の距離が指定数値になるようにウレタンキャスター補正ブッシュを取り付けます。

F の続き

POINT **ブッシュの作業はアーム1箇所ずつ作業すると安全です。**

⚠注意 **ブッシュの抜き取り及び圧入は油圧プレスをご使用ください。**



リアトレーリングアームのブッシュ取り付け寸法

G スタビライザー延長ブロックの取り付け

❶純正スタビライザーのフレーム側取り付け部ボルトを取り外します。

❷20mmスタビ延長ブロックをフレームとスタビライザーの間に挿入し、付属のボルト、スプリングワッシャー、平ワッシャーを使用してスタビライザーを固定します。

POINT **車両が地面に接地した状態で作業を行うと取り付けが簡単です。**

⚠注意 **純正フロントバンパーと併用する場合、本商品と純正バンパー下部に干渉が発生します。干渉が発生した状態でバンパー下部の取り付けボルトをご装着いただくことで、バンパー本体を確実に固定することができ、走行時にも異音等の発生はなくご使用いただくことが可能です。(干渉状態に不安がある方はバンパーカット加工等にて干渉を改善することも可能です。)**

H エアロッキングハブ延長ホースの取り付け

❶フロント運転席側エンジンルームからホーシングに配管されている純正エアロッキングハブホース2本を取り外します。

❷エアロッキングハブ延長ホースを取り外した純正ホースと交換します。

POINT **製品は長めにカットされています。車両が地面から浮いた(0G)状態で少し余裕を持たせるぐらいを目安にカットしてご使用ください。**

⚠注意 **エアロッキングハブ延長ホースは純正ホースと同じ位置までパイピングにしっかり押し込んで取り付けてください。取り付け不良はハブロック不良やチェックランプ点灯の原因になります。**

❸作業終了後、四駆に切り替えハブロック機能が正常に作動していることを確認してください。

I ABS延長カラーの取り付け

❶フロント運転席側エンジンルームからホーシングに配線されているABS配線のホーシング側固定ステーを取り外します。

❷付属のボルトにスプリングワッシャー、平ワッシャー、ABS固定ステー(純正部品)、20mmカラーの順番に入れ、取り外した純正位置に取り付けます。

⚠注意 **車両が地面から浮いた(0G)状態で取り付けをおこない、必要であればホーシング側固定金具からABS配線を取り外して配線が引っ張られないように調整してください。**

ABS延長カラーの取り付け例

I の続き

❸リアABS配線のリアデフ上部、車体側のカシメを外し、配線に余裕を持たせてください。

❹作業完了後、ABSチェックランプが点灯せず、正常に作動する状態であることを確認してください。

リアABS配線のカシメ取り外し箇所

J スパイラルチューブの取り付け

❶フロントブレーキホース左右のフレームと近くなる箇所に、画像を参考にスパイラルチューブを取り付けます。

⚠注意 サスペンションがストロークした際に干渉する可能性がある場合、継続車検等で指摘を受けるケースがあります。

助手席側にも同様に取り付けてください。

全ての部品の取り付け後、試運転をおこない、異音やステアリングセンターのズレ等がない事を確認してください。

⚠使用上の注意

本製品を安全にご使用いただくために、必ずこの注意事項をお読みいただき、記載された内容に従って正しくご使用ください。
あわせて、別冊の「製品取扱い注意事項」も必ずご確認ください。
なお、本製品を他のお客様に譲渡される場合は、本書も必ず添付してお渡しください。

●交換装着した部品は純正部品とは異なる特性に設定されており、また追加装着した部品は装着位置・寸法・重量などの変化により、装着前の車両とは運転感覚や特性が異なる場合があります。製品装着後の運転（特に装着直後）は十分に注意してください。

●製品装着後の運転では、車両の揺れや振動により緩みなどが発生することがあります。必ず製品および装着部に異常がないかを点検してください。

●本製品の改造は行わないでください。また、他社製パーツとのマッチングは考慮していません。

●製品使用中に衝突や強い衝撃を受けた場合、本体や取り付け部に変形・破損・故障が生じることがあります。直ちに使用を中止し、取り付け店舗にて点検を受けてください。

●不具合が発生した場合は、お買い上げの販売店または取り付け店舗へ至急ご連絡ください。

ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。
Mail: info@cl-link.com
HP: https://www.cl-link.com/

発売元
シーエルリンク株式会社
〒739-0033　広島県東広島市西条町馬木564-1

C.L.LINK
CUSTOM PARTS